

|  |  |     |     |                  |                 |       |    |
|--|--|-----|-----|------------------|-----------------|-------|----|
| 授業科目   | 地域マネジメント論特別演習<br>Community Management              |     |     | 担当教員             | 落合知子・脇野幸太郎 ※檜 貢 |       |    |
| 展開方法   | 演習   | 単位数 | 2単位 | 開講年次・時期          | 1年／前期           | 必修・選択 | 必修 |
| 授業のねらい   |  |     |     |                  |                 |       |    |
| この講義では、自立した地域コミュニティの形成とそれを主体とする持続可能な社会発展のために求められている地域マネジメントの新たなあり方について、社会福祉学および地域政策論の視点から考察しようとするものである。「まちづくり」の基幹となるべき社会福祉の具体的な問題と地域政策の課題を通して、ホスピタリティと人間尊重の理念を活かした地域マネジメントを実現する能力を修得することを目標とする。  |  |     |     |                  |                 |       |    |
| 観点   | 学生の授業における到達目標                                      |     |     | 評価手段・方法          | 評価比率            |       |    |
| 関心・意欲<br>・態度   | 社会福祉および地域政策の問題を地域マネジメントに応用することについて討議することができる。      |     |     | ・授業態度・参加         | 20%             |       |    |
| 思考・判断  | 地域マネジメントにおける社会福祉および地域政策の意義について考え、的確に指摘することができる。    |     |     | ・定期試験            | 10%             |       |    |
| 技能・表現  | 社会福祉および地域政策の視点を、地域マネジメントに関する自らの研究テーマに応用することができる。   |     |     | ・課題レポート          | 10%             |       |    |
| 知識・理解  | 地域マネジメントと社会福祉および地域政策に関する主要な研究業績についての的確に説明することができる。 |     |     | ・定期試験<br>・課題レポート | 30%<br>30%      |       |    |
| 出席   |  |     |     |                  |                 | 受験要件  |    |
| 合計   |  |     |     |                  |                 | 100%  |    |
| 評価基準および評価手段・方法の補足説明  |  |     |     |                  |                 |       |    |
| 評価は定期試験 40%、課題レポート 40%、授業態度・参加 20%の配分で行う。定期試験は各授業担当者が課すテーマと自らの研究テーマを関連づけたレポートの提出により行うものとして、主要な先行研究の問題提起を的確に理解し、地域マネジメントと社会福祉あるいは地域政策のさまざまな概念と視点を十分に用いることができているかを評価基準とする。課題レポートでは各授業担当者が授業のなかで指示する発表報告に関して、幅広い文献・資料にも意欲的に当たって、内容豊富で問題提起的なレポートを作成することができるかによって評価する。授業態度・参加については、発表をめぐる受講生同士の討論や教師からの発問に対する応答の内容を評価基準とする。 |  |     |     |                  |                 |       |    |
| 授業の概要  |  |     |     |                  |                 |       |    |
| この講義では、3人の担当者がオムニバス形式で、それぞれの視点から地域マネジメントについて論じる。まず、地域における博物館のあり方について検討する。次に、社会福祉の精神にもとづいた地域コミュニティの形成がどのようになされていくべきかを、ボランティア活動等の問題を通して考察する。さらに、地域政策論の視点からの地域リーダーの育成などの問題を通して、地域マネジメントのあり方についての具体的理解を深める。  |  |     |     |                  |                 |       |    |
| 教科書・参考書  |  |     |     |                  |                 |       |    |
| 教科書：特に指定しない。テキスト・資料等はコピーして配布する。<br>参考書：授業の中で指示する。  |  |     |     |                  |                 |       |    |
| 授業外における学修及び学生に期待すること   |  |     |     |                  |                 |       |    |
| 地域マネジメントとは学問的にいまだ新しく、確立されていない部分も多い領域であるが、それだけにまた生産的な議論が可能である。社会福祉学および地域政策論の視点から地域マネジメントを多角的に考察するこの講義に、受講する院生諸君が主体的かつ積極的に参加することを期待する。   |  |     |     |                  |                 |       |    |

| 回  | テーマ                           | 授業の内容  | 予習・復習                             |
|----|-------------------------------|--|-----------------------------------|
| 1  | 博物館の4大機能<br>(落合)              | 博物館法における博物館の4大機能を分析し、博物館が地域に果たす役割を考察する。                                  | 博物館法の予習・復習                        |
| 2  | 地域における博物館の役割①<br>(落合)         | 地域の核として利用されている北欧の博物館を事例に地域マネジメントを考察する。                                   | 野外博物館に関する予習・復習                    |
| 3  | 地域における博物館の役割②<br>(落合)         | 動物園・水族館の活動から地域に果たす役割を検討する。   | 動物園・水族館に関する予習・復習                  |
| 4  | 地域における博物館の諸活動<br>(落合)         | 地域博物館における諸活動を考察し、地域マネジメントの課題を見出す。  | 博物館の諸活動に関する予習・復習                  |
| 5  | 博物館の回想法<br>(落合)               | 博物館における回想法を考察する。   | 高齢者対策を推進する博物館に関する予習・復習            |
| 6  | 地域包括ケアシステム構築の方向性<br>(脇野)      | 現在国により進められている地域包括ケアシステム構築の内容と方向性について、地域コミュニティの形成との関連を念頭に置きつつ検討する。        | 国が示す地域包括ケアシステムの内容に関する予習・復習        |
| 7  | 地域包括ケアシステム構築と地域コミュニティ<br>(脇野) | 地域包括ケアシステムを基軸とした地域コミュニティ形成の方向性やその課題について、佐世保市地域福祉計画・佐世保市地域福祉活動計画を通じて検討する。 | 佐世保市地域福祉計画・佐世保市地域福祉活動計画を熟読しておく。   |
| 8  | 地域コミュニティとボランティア<br>(脇野)       | 地域コミュニティの形成を、ボランティア精神の発揮という視点から考察する。                                     | 地域コミュニティとボランティアの整理・復習             |
| 9  | 地域についての協働のあり方とリーダーシップ<br>(脇野) | これから地域をマネジメントしていくには協働の手法が必要であり、そのあり方を研究し、そのリーダーになる。                      | 佐世保市協働推進指針を検討する。                  |
| 10 | 人口減少社会の特質とマネジメント構造<br>(檜楨)    | 日本のほとんどの地域社会は人口減少社会であって、その社会的特性を明らかにし、展開される地域マネジメントを考える。                 | 身近な地域を選んで、人口減少の実態をフォローする。         |
| 11 | 自治体政策の総合化計画化<br>(檜楨)          | 国と地方の関係構造から市町村政策であってもタテ割りが進められるので、それを地域住民の要望に対応するためには総合化、計画化が必要であることを学ぶ。 | 市町村の政策を総合計画や地方創生総合戦略等によって確認する。    |
| 12 | まち・ひと・しごと創生総合戦略<br>(檜楨)       | 佐世保市の地方創生総合戦略をテキストに、まち・ひと・しごと創生総合戦略の実態を分析し、地域のマネジメント課題を確認する。             | 地方創生総合戦略を読み直す。                    |
| 13 | コンパクトシティと小さな拠点<br>(檜楨)        | 都市・地域のコンパクト化と小さな拠点についての考え方と実態を学ぶ。  | 中心市街地だけではなく、周辺部の地域マネジメントをどう進めるのか。 |
| 14 | 地域マネジメントのための計画システム<br>(檜楨)    | 都市自治体が展開する都市マネジメントの構造と課題を考察する。   | 市町村行政の企画調整機能を復習                   |
| 15 | あるべき地域マネジメントとは<br>(脇野)        | 人間尊重の福祉思想を説明しながら、地域マネジメントのあるべき方向性について考察する。                               | 人間尊重の福祉思想とこれまでの授業内容の整理・復習         |